

経営比較分析表（令和5年度決算）

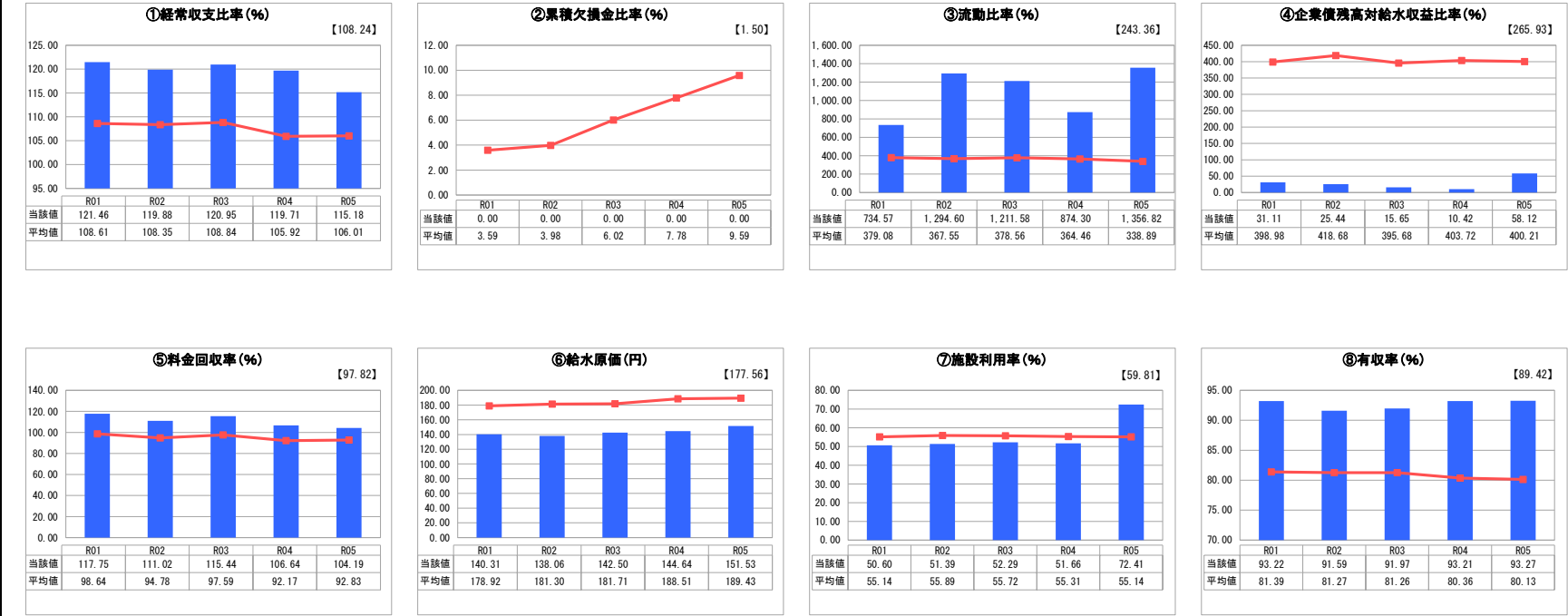
埼玉県 嵐山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	87.62	99.90	1,897	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,516	29.68	590.16
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
17,487	29.85	585.83

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
前年比4.53ポイント減少しましたが、依然として比率は類似団体平均及び全国平均を大きく上回ることができています。この状況の維持に努めます。

②累積欠損金比率
該当数値無し。

③流動比率
短期債務に対する支払い能力を示していますが、類似団体平均及び全国平均を大きく上回っており、現在の経営状況は良いと判断できます。

④企業債残高対給水収益比率
順調に返済を続けているため、この数値も減少を続けていますが、今後の老朽施設更新等に伴い増加する見込みです。

⑤料金回収率
前年度比2.45ポイント減少しましたが、類似団体及び全国平均を上回っております。今後も適切な料金収入の確保に努めます。

⑥給水原価
給水に関する製造単価であり、効率的な運営により低い値を維持できています。

⑦施設利用率
第3次拡張事業により昨年度比20.75ポイント上昇しました。これにより類似団体平均及び全国平均を上回ることができました。

⑧有収率
類似団体及び全国平均を大きく上回っており、今後一層の数値上昇を目指します。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
施設の老朽化は年々進んでおりますが、類似団体及び全国平均と同程度となっております。将来世代に必要な資産を引き継いでいけるよう、今後も適切な施設の更新を検討してまいります。

②管路経年化比率
管路の老朽化は年々進んでおりますが、類似団体及び全国平均よりも良好な状態と判断できます。今後も計画的な更新に努めます。

③管路更新率
前年度比0.48ポイント減少しました。類似団体及び全国平均を下回っており、今後は計画的な更新を進めてまいります。

全体総括

当町の水道事業は、昭和38年の簡易水道開始以来、水道法の目的を目指し、清浄にして豊富低廉な水の供給に努めてまいりました。

現在、水道事業の経営の健全性や効率性は昨年度に引き続き順調に推移していますが、将来的には、人口減少等による給水収益の減少、一方で、事業費用は施設の耐震化や老朽管の更新等により増加が見込まれ、今後の経営環境は厳しくなっていくことが予想されます。安定した供給を継続的に保つため、適切な原価計算に基づく料金水準の設定等検討する必要があります。

今後とも経営の効率化を推進し、当町の水道事業の目標であります、安全・安心・安価で豊富な水を将来に向かって安定して送り届けることができよう邁進してまいります。

2. 老朽化の状況

